

基本方針	施策の方向性	施策	進捗度合い*	R2	R3	R4	R5	R6	R7
1. 市街地における回遊性の向上（重点方針）	1. 市街地内及び地域間をつなぐ公共交通の機能強化	市街地循環バス導入	○	・第1回実証（2か月）	・第2回実証（4か月）	・第3回実証（1年）	・本格運行		
		既存バス路線の見直し		・関係者協議実施	・重複区間の整理やイオン乗り入れ等、利便性が高く効率的な形態を目指し協議検討 可能であれば見直しの実行へ				
	2. 鉄道駅や交通結節点の機能強化	館山駅各施設の利便性向上		・民間の取組始動				・再整備計画策定・活性化に向けた検討 可能であれば実行へ	
		集客施設等におけるバス待ち環境整備		・安房塩見バス停完成	・商業施設等でのバス待ち環境向上に向けた検討 可能であれば実行へ				
		館山駅での鉄道・バス等の接続改善		・各路線のダイヤ改正等に合わせ、随時見直しの検討、実施					
		JR内房線無人駅の活用		・那古船形駅利活用に向けた検討（市役所内部）				・本格的な利活用に向けた検討	
2. 隣接自治体との広域的な連携の推進	3. 南房総市と一体となった公共交通ネットワークの機能強化	平群線・丸線の見直し	○	・実証運行（第1弾）	・実証運行（第2弾）	・実証運行（第3弾） 本格運行に向け判断		・運行本格化	
		白浜千倉館山線の見直し	○		・ダイヤ一部変更	・R5.4.1 ダイヤ見直し（白浜～千倉間減便）		・利用状況検証、改善策検討	
		高速バスの活用とパークアンドライド駐車場の整備	×	・行政、事業者と協議検討を続ける					
3. 主な公共交通空白地域における地域主体の交通システムの構築（重点方針）	4. 地域が関わる新たな交通システムの導入	住民ニーズに応じた豊房線再編見直し	○			・実証運行 本格運行に向け判断		・新たな形態への移行	
		ラストワンマイル対策のための新モビリティ導入検討	○		・GSM実証（富崎・西岬） ・神戸等買い物チャトル実証	・富崎ぐるっとバス本格運行（一般車両にて） ・神戸等、他地区での実装検討（可能であれば実行へ）			
		自動運転車両の導入研究	×	・国や他地域での動向等情報収集を続ける					
4. 観光二次交通の整備・確保（重点方針）	5. 沖ノ島や海岸沿いのアクセス確保	GSMの活用による鏡ヶ浦回遊ルートの設定	×	・GSMにこだわらず、鏡ヶ浦周辺を楽しく巡れる魅力的な仕組みを検討					
	6. 既存路線の観光客対応	観光周遊バスの導入	×	・行政、事業者と協議検討を続ける					
		南房パラダイス～相の浜の運行復活	○	・相の浜まで延伸済					
		フリー乗車券や乗継割引等導入	○	・フリー乗車券販売	・Webで購入できる企画乗車券販売検討		・R5当初から販売開始 以後改良を重ね拡充させていく		
5. 高齢者等支援制度の確立	7. 高齢者等の外出支援促進	タクシー運賃補助の導入	×	・他の施策との兼ね合いを見ながら検討					
		日用品移動販売の検討	○	・先行事例の研究や事業者とのヒアリング等を実施		・千葉薬品さまの移動販売サービススタート			
		運転免許返納者向け施策の周知強化		・市の広報やホームページ等を通じ情報発信を行う					
		公共交通のメリット等に関する周知		・市の広報やホームページ等を通じ情報発信を行う					
6. 公共交通を利用しやすい環境の整備	8. キャッシュレス化の推進	タクシーのキャッシュレス化	○	・市内事業者対応済					
		バスのキャッシュレス化			・PayPay導入（循環バス） ・交通系ICカード導入については行政・事業者にて検討を継続				
	9. 分かりやすい運賃制度の導入	ゾーン制など、分かりやすい運賃体系の導入	×	・ゾーン制のみならず、定額乗車券など、分かりやすく利用しやすい運賃制度の創設を行政・事業者と協議検討を続ける					
	10. ユニバーサルデザインの導入	バスやタクシー車両のバリアフリー化促進	×				・循環バス本格運行に合わせノンステップ車両導入		
		案内表示等の多言語化推進		・バス、タクシー事業者への働きかけ等を通じバリアフリー化を進める					
	11. 公共交通に関する情報発信の強化	Google Map等におけるバス・鉄道時刻等の情報発信強化	○	・GTFS-JPデータ作成（循環バス）		・本格運行後、改めてGTFS-JPデータ作成を行う			
		MaaSに関する取組着手	○	・スマホを活用した取組（定額乗車券販売等）検討				・R5当初から販売開始 以後改良を重ね拡充させていく	
		南房総市と連携したバス路線マップの製作				・路線見直し状況等を踏まえ、最適なタイミングでマップを製作する			
		12. 公共交通の通学利用促進	小中学校における路線バスの活用推進	×	・学校現場や保護者等の意見や方向性を踏まえ、路線バスの活用を働きかける				
	スクールバスの活用検討		×	・乗車定員や保護者の意見などから、混乗化が難しい状況					
	高校生及び保護者に向けた公共交通利用呼びかけの実施		○	・市内3高校新入生への案内チラシ配布を継続して実施する					
7. 公共交通により親しんでもらうための施策展開	13. モビリティ・マネジメントの実施	官公庁でのノーマイカーデーの実施	×	・継続して検討する					
		公共交通のメリット等に関する周知		・市の広報やホームページ等を通じ情報発信を行う					
	14. 家族で公共交通に親しめる施策の実施	家族で楽しめるバスや鉄道の乗り方教室開催	○		・西岬小学校乗り方教室	・イベント開催を事業者と行政で検討する			
ファミリー向け割引制度の導入		×	・定額乗車券販売等を検討する際、ファミリーにお得な制度設計を合わせて検討する						

*進捗度合いについては、以下の基準にて事務局により判定した

○：進捗がおおむね60%以上と認められる事業

：進捗がおおむね20～60%と認められる事業

×

×：進捗が20%以下と認められる、又は未着手の事業